

新年明けましておめでとうございます。令和2年山形村役職員新年会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。皆さまには、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

本日は、衆議院議員の下条みつ様、務台俊介様、長野県議会清沢議長様始め、ご来費の皆さまには、ご多忙の中ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

本日、恒例の令和2年山形村役職員新年会を開催いたしましたところ、日ごろ山形村の村政の運営にご指導、ご協力をいただいております役職員の皆さまにご出席をいただき、新年の祝賀会がこのように盛会に開催出来ますことに深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月には県議会議員選挙と統一地方選挙が行われ、5月1日には年号が平成から令和に変わりました。国政では7月に、参議院選挙が行われるなど、選挙の年でもありました。また、10月には消費税が8パーセントから10%に引き上げられ、保育園の3歳以上児の保育料が無償化されるなど、社会保障も全世代型のへと変わる年でありました。

自然災害では、昨年も台風15号・19号・21号が大きな被害をもたらしました。特に台風19号は、10月12日から13日の未明にかけて、県内にも襲来し、東北信を中心に大きな被害をもたらしました。

幸いにも当村では大きな被害はありませんでしたが、様々な点で山形村の災害対策の課題も明らかになり、災害対応の再点検が大きな行政課題のひとつとなりました。

現在の村政の概要の一部を申し上げますと、山形村の主な公共の建物は、昭和50年代から60年代に整備されたものであります。今後それぞれ施設が長寿命化や更新が必要になって参りますことから、昨年9月公共建築物のあり方検討委員会を設置、検討をお願いし、昨年11月各施設についての答申をいただいております。ふるさと伝承館の早急な解体などの答申内容を参考に、新年度へ向けての具体的な検討を進めております。

山形村も混住化が進む中で、地域の自治組織でもあります区や常会のあり方が大きな課題となっております。

地域コミュニティに関する検討委員会の提言をいただき、関係機関と調整をしながら取り組んでいるところであります。

役の見直しでは、交通安全協会の代議員の廃止や防犯協会の部会編成の見直しなどを行っております。また、地区の費用負担を軽減するために、防犯灯の電気料を昨年より全額村費負担といたしました。防犯灯のLED化につきましても、全村約960基については、今年の2月までには全て竣工する予定であります。

風食防止対策につきましては、山形村のイメージの低下する要因でもありますので、行政

の重要課題として、取り組んで参りたいと考えております。

昨年の1月から5月の期間、風食の発生を予測し、風食の情報を村のホームページで提供をしております。

また、一部の耕作者の方にお願ひし、ソルゴーを播種していただき、風食防止効果の検証を行っております。

従来のおり、圃場へのネット張りや麦の播種なども行いながら、複合的に対応しております。今後も各データを取りながら、将来に向け様々な施策の検討を行いたいと思ひます。

人口減少・地方創生の施策として山形村でも一昨年より取り組んでおります。地域おこし協力隊の事業につきましては、本年度、隊員を4名体制に増員いたしました。情報発信・そば打ち・観光振興に加え、子育て支援の分野でも、活動をお願ひしております。

後ほど協力隊員の活動状況を紹介させていただきますが、隊員の活動にご理解をいただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

これから加速化してまいります少子高齢化の時代は、様々な課題もありますが、地域や住民の力が発揮されやすい小さな自治体が、住み甲斐のある自治体だと思ひます。

これからも村民の皆さまには、知恵を出していただきながら、共に住んで良かったと思える、住みがいのある村づくりを進めて参りますので、今後共ご協力をお願ひ申し上げます。

最後に、新しい年が皆さまにとって、また山形村にとっても希望に満ちた良い年でありますようご祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。